

関係機関と連携した地域ぐるみの 新規就農者の確保育成

県南農林事務所つくば地域農業改良普及センター

つくば地域は消費地に近く、つくばエクスプレス及び高速道路が通り交通の利便性にも優れ、また研究学園都市の知名度などから、農業外分野から農業へ参入したいという新規就農相談が多い地域です。普及センターでは、市・JA・農業者とともに就農支援に取り組み、地域ぐるみで新規就農者の確保育成にあたっています。令和7年度は2名が青年等就農計画の認定を受け、新規就農しました。今後も地域農業の維持・発展のため、新規就農者の確保育成を積極的に推進していきます。

農業者と連携した就農イベントの開催

令和7年度は55名から新規就農相談があり、新規就農希望者が農業の実際を知ることが目的に、農業三士をはじめとした地域農業者と直接相談できる就農支援ワークショップを2回開催しました。先輩農業者の体験談を聞き、就農に向けた取り組み状況や悩みを先輩農業者とともに振り返ることで、具体的な就農プランの作成につなげています。



図1 就農支援、ワークショップにて講師役を務める青年農業者



図2 事業計画作成について学ぶ講演の様子

経営管理能力向上の取組

新規就農希望者及び新規就農者の経営管理能力向上のため、令和7年度は「農業ビギナーのための事業計画作成講座」を開催しました。(株)日本政策金融公庫らを講師に招き、経営者になる心構えや事業計画の具体的な作成方法について学びました。その結果、令和7年度は管内で2名が青年等就農計画の認定を受け、新規就農に至りました。

就農準備資金の研修機関認定

JAつくば市谷田部産直部会は、生協出荷を主に食の安全性・おいしさ・環境に配慮した農業に取り組んでいます。産地規模の維持に向けた新規部会員の確保のため、普及センターは新規就農者の受入れ体制整備を支援し、同部会は就農準備資金の研修機関認定を受けました。地域では新規就農者の地域への受入れの機運が高まっています。



図3 部会長（農業経営士）による講演の様子